



人の動き（敬称略）

ご結婚おめでとうございます

田淵 九大	印 賀
(片桐) 沙 希	生 山

お悔やみ申し上げます

氏 名	年 齢	住 所
長谷川 明 子	102歳	多 里
西 村 務	94歳	萩 原
足 羽 延 夫	86歳	霞
高 木 淺 子	91歳	折 渡
高 橋 正 夫	81歳	上石見
山 城 清	96歳	下阿毘縁
古 都 光 二	85歳	印 賀
三 上 薫	91歳	菅 沢
錦 織 清 子	94歳	下石見

（令和2年10月16日～令和2年11月15日受付分）

■世帯 1,991（+1） ■人口 4,404（-7）
 ■男 2,077（±0） ■女 2,327（-7）

法令の改正により、外国人を含めた世帯数と人口を掲載しています。 令和2年10月末日現在

町長 日誌

11月3日、「拉致問題の早期解決を願う国民の集いin 米子」に参加しました。

鳥取県内の拉致被害者等は5人とされています。政府認定拉致被害者の米子市出身の松本京子さんは、1977年自宅近くで拉致されました。当時29歳であり、日本において他国に連れ去られるということは察するにあまりあり、許されざる行為です。国内の拉致被害者数は約900人といわれています。

この間、政府の調査や交渉により2002年に5人の拉致被害者が帰国しましたが、他の被害者については、いまだ北朝鮮当局からの安否に関して納得のいく説明がありません。国連では、毎年外国人の拉致問題を含む「北朝鮮人権状況決議」が採択されており、北朝鮮への圧力は国際社会でも確実に強まっています。菅内閣においても、被害者本人もご家族も高齢となる中、ご家族の切ない思いと「もはや一刻の猶予もない」との切迫感を共有しており、拉致問題は内閣の最重要課題であり、政府の責任において最優先で取り組んでいくべき課題であると表明しています。

若い女性のシンガーソングライターの方が、「空と海の向こう～拉致被害者全員の救出を願って」という曲と、心ひとつにして解決していきましょうという言葉に心を打たれました。

松本京子さんの約43年前の出来事がいまだ解決に至らない状況の中、私たちはこの拉致問題の解決は国民的課題として声を上げていくことが拉致被害者の早期帰国への大きな力となることにつながります。町民の皆さんも一緒に考えていきましょう。

（11月10日記）

日南町長 中村 英明



観光協会 通信 2020年12月号
 日南町観光協会 TEL 82-1715

古民家改修DIYワークショップへの参加者を募集しています

10月31日、町観光協会にて「第1回古民家改修DIYワークショップ」を行い、9名の参加がありました。

この企画は、【農泊】（＝農山漁村で伝統的な生活体験や地域住民との交流をし、農家民宿や古民家に宿泊してその土地の魅力を味わってもらう旅の形）を始めたいとお考えの方の支援を目的としたもので、はんざけ（オオサンショウウオ）の保護研究拠点である「はんざけ道場（新屋）」を会場に実施しました。

今回は屋根の解体撤去作業を中心に行う回で、始めに家周りの伸びきった木の剪定と除草をして、作業スペースの確保を行いました。その後、建築現場でも使用される本格的な足場を組み立て、古くなった瓦を全て取り外し、屋根を貼るための下地を整えてからトタン屋根に貼り替えました。

今後も複数回開催予定で、次回以降は土間のコンクリート張りや外壁・内壁工事、天井の取り付けなどをプロの大工さんご指導の下、DIYのノウハウを学んでいきます。

空き家の利活用についてお悩みの方、家の修繕・DIYにご興味のある方、ぜひご参加されませんか。参加費は必要ありません。次回以降の日程や内容の詳細は、町観光協会までお問い合わせください。



▲バケツリレーの要領で瓦を取り外しました。一つの作業を行う前の準備が効率的な作業に繋がることをこの日は学びました。

